



# 市保連 だより

2010  
(5月)

[第396号]

平成22年5月1日発行  
社団法人 熊本市保育園連盟  
広報委員会  
発行責任者 重岡 啓一  
〒860-0806 熊本市花畑町3-1  
熊本市花畑別館3F  
TEL (096) 322-0096  
委員長 清永 ヤヨヒ  
委員 鬼塚 静波  
委員 建川 美徳  
委員 村川 惠逸  
委員 村上 裕季子  
委員 平川 けい子  
委員 伊形 福栄  
委員 石角 奈二郎



理事会

## 伝承遊びは日本の遊びの文化

中央ブロック長 愛光幼稚園 三島良子

5月の風はやさしいですね。目に映る熊本城もあっという間に緑に囲まれました。そして、今年も季節が早め早めに経過しているように感じます。

私たちの暮らしはたいへん便利になりました。スイッチひとつで洗濯機が回り、ご飯が炊け、希望の時間にタイマーをセットしておけば、自動的にお風呂が沸き、スーパーマーケットには、電子レンジで温めればよい食品があふれています。これは一面では「進歩」と言ってよいかもしれませんが、反面、便利さと引き替えに失ったものも少なくないと思われる。例えば、雑巾をうまく絞れない子どもが増えています。これは、暮らしが電化されるにつれて、日常、手を使って何かをすることがどんどん少なくなっているからでしょう。思うに子どもの育ちにも早め早めを望んではいないでしょうか。子どもが大人になっていく長い道筋の中で、今、この時期子どもにとって何が必要か、何が大切か、子どもが何に興味をもっているか、急がずゆっくり、見極めて、それに応じた手助けをすることが大切ですね。季節感と共に、今の社会では、人と人とのコミュニケーションを交わす機会も減り、子どもに関する犯罪も多く、なかなか戸外で遊べる環境も難しくなり、公園で遊ぶ姿も見られなくなったようです。安心して子育てが出来るよう保育園でも支援していきたいと思えます。

そこで伝承遊びの楽しさを思い出しました。伝承遊びは日本の遊びの文化。お手玉、かるた、おはじき、ビー玉、メンコなど、子どもの頃親しんだ、懐かしいおもちゃがあります。遊びは子ども達の手によって、変化しながら、仲間同士や、親から子へ、子から孫へと受け継がれるものであり、口から耳へ、手から手へと、身体から身体へと、そこに存在する

人間のあたたかみを伴って伝承されてきたものでした。また、遊びを通して人と人との関わりや社会のルールづくりを学んだり、自分の身体を上手に使うってさまざまな生活の道具を使いこなす技や知恵を習得してきました。ところが今では、遊びやおもちゃは「じぶんでつくるもの」ではなく、「お金を出して買うもの」となり、決められた遊び方に従い、ボタンを押して遊ぶものになってしまいました。バーチャルリアリティの遊びへと変化したことで、子どもも大人も自分自身の手指や足、五感をとぎすませて器用に身体を使ったり、工夫することが苦手になっていると思われる。しかし、保育の現場では、伝承遊びを多く取り入れられることをお勧めします。要は、ありのままの子どもをしっかりと受け止め、子どもと心を通わすことではないかと思えます。社会全体があわただしくなっている今日、なかなか子ども達とじっくりコミュニケーションを交わす機会がありません。三度の食事に親の手作りがよいのと同じように、子ども達の遊びも既製のものばかりに頼らず、ぬくもりのある「手づくり」のものを加えてみてはいかがでしょうか。



このように、長く日本人の生活・文化を支えて来ましたが伝承遊びを、私たちも次代を担う子どもたちと、ともに学び、ともに遊び、ともに喜びながら、正しく伝えられたら、素晴らしいですね。

これからも園長会・保育士会・調理師会の方々と共に、子どもを中心に据えた保育園連盟の働きを覚えて、歩んでいきますようご協力宜しくお願いいたします。



保育士会

## 子どもと共に

私は結婚、出産を経て保育士に復職しました。1歳児クラスを担当させて頂いているのですが、毎日子どもたちと一緒に笑ったり泣いたり、発見したり喜んだりで大忙しで楽しく充実した日々を過ごしています。

保育園は広い園庭を持ち自然に囲まれた環境にあるので、その中で思いっきり走ったり色々な遊具に触れたり、挑戦したり、木登りや虫探しをしたりして、友だちや自然、生き物と触れ合いながら人との関わりや物や自然と関わる事等を育んでいます。

人間形成の行われる大事な時期の子どもたちが、周りの様々な物と触れたり刺激を受けて成長していける様に、環境設定を考慮していますが、子どもの何気ないつぶやきや思いもよらない発想や行動で活動が広がったり楽しさが倍増したりする事が多々あります。その度に驚かさ

モロナイ保育園 保育士 山下 沙織

れたり気付かされたり、子どもは皆すごい才能をもっているんだなと学ぶことが沢山あります。昨日まで出来なかった事が今日できたり、転んでも転んでも起き上がって挑戦する意欲など1人ひとり持っている物は違うけれど、その子のいい所を引き出し伸ばしてあげられる様に心掛けています。



「みんなちがってみんないい。」1人ひとりと向き合いそれぞれの個性を輝かせられる様に導いていける保育士という職に誇りを持ち、子どもと共に日々成長していける様努力していこうとおもいます。



調理師会

## 知恵袋に感謝

私が現在の職について8年が経とうとしています。前職では企業の経理主任として伝票と戦っていた私にとり、先輩方や研修会からお教え頂く、職業としての食材の取扱い方に今までの認識とこんなにも違う物なのか、と日々戸惑いと新鮮な学びの連続だったのを思い出します。

また当園では毎月1回、地域の社協・民生委員・ボランティアグループと連携し、ふれあい会(誕生会)を開催しています。このふれあい会では、地域のお年寄りの方々に声を掛け、保健師による血圧測定や問診、誕生園児の紹介やステージでの出し物などを主に会食までを楽しんでもらおうと10年間継続して開催しているものです。実は私たち調理師にとり、この会食は研修会(試練の場?)な

リリー保育園 調理師 上野 美香子

のです。おばあちゃん方の意見はシビアで食材に対する包丁の入れ方から素材の持つ味の引出し方等、レシピには無い経験の積み重ねによる言葉を頂いたり、これはこうしたら良かもんな!と言う会話から秘伝の味?なるものを勝手に伝授させて頂くことも度々です。時折『今日のは良くなったごたる!ちっと味ば変えたごたるな』と笑顔で言われたり『どがん味つけばしたとね、今度教えてネ』と言われた時は、おもわずガッツポーズで

す!この他伝統行事など祖父母方の参加の多い場合は裏メニュー聴取の絶好の場?ともなっています。今回の投稿を機に改めて『知恵袋』とも言える教えに感謝しています。この感謝は食を通して子どもたちに教え繋いで行く事で表して行きたいと思います。





園長会

# チームワーク

かおる保育園 園長 古川 豊



同点で迎えた最終回、ノーアウト・ランナー1塁!! 皆さんがこの野球チームの監督ならどんなサインをしますか? バント・ヒットエンドラン・ヒッティング どのような攻撃でしょうか?

最近よく週末は、息子の入っている野球チームの応援に行っています。もしかすると子ども達よりも親の方が一喜一憂し楽しんでいるようです。でもそこには、小学生といえども、活躍すると喜び、ふがない姿に涙し、試合に挑む真剣そのものの姿があります。攻撃の場合、打順によって役割があります。華やかにホームランを打つ子もいれば、勝利のきっかけとなるバントを決める子もいます。野球って強打者だけでは勝てないんですね。(数年前のプロ野球のG軍を思い起こせばお解かりになると思いますが…) 野球は、それぞれ選手の特長を活かしながらチームとして戦っていくスポーツです。また、選手一人一人に違いがあるからこそ、攻撃も多彩になり奥が深く観戦も楽しくなるものです。

小学生は、まだまだ未熟なのですが今より上手になりたいという向上心に満ち溢れていて、確実に試合ごとに上手になっていく様子がわかります。失敗しても決してあきらめないそんな姿勢に心打たれます。

たかが、少年野球ですが私達の職場に置き換えて考えることができるようです。

今、国は、政権交替し保育のしくみが変わりそうなる時です。「子どもの育ち」という本来の姿に目を向けた変化であってほしいと願っていますが、思惑は待機児童解消中心で心配です。更に今までの財源が保育所にくるのか? というのも心配です。このような時だからこそ、私達職員一人一人が自分に出来ることを真剣に取り組んで、互いに影響しあえる本物のチームワークが必要だよと子ども達に教えられているようです。

されど少年野球ですね!

## 5月の予定

会合	担当年齢	日	時間	会場	研修内容
年齢別・実技研修会	0、1歳児	21(金)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 「アドバイザーの先生より内容説明」
	2歳児	19(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 「アドバイザーの先生より内容説明」
	3歳児	12(水)	14:00 ~17:00	熊本市男女共同参画センター はあもにい (旧 総合女性センター)	「グループ討議」 「アドバイザーの先生より内容説明」
	4、5歳児	20(木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 「アドバイザーの先生より内容説明」
	実技研修	25(火)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「幼児の体操あそびと指導法」(対象:幼児) 講師: BIN体操クラブ 上田晃生氏
保育士役員会		18(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 5F	小会議室(洋室)
調理師全体研修会		20(木)	14:00 ~17:00	崇城大学市民ホール 2F	大会議室
理事会		11(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 4F	第2会議室
5月通常総会		22(土)	12:30 ~13:45	熊本テルサ	
保育研究大会		22(土)	14:00 ~17:00	熊本テルサ 1F	テルサホール
歓送迎会		22(土)	17:30~	熊本テルサ 3F	たい樹

**ご結婚おめでとうございます**

- 出水南保育園 3月21日 保育士 野中志穂子 (旧姓 田中)
- 田迎保育園 3月25日 保育士 福原 祐紀
- つばめ保育園 3月25日 保育士 福原 樹里 (旧姓 田中)
- 出水南保育園 3月31日 保育士 岡本由季子 (旧姓 石原)
- 水前寺保育園 5月2日 保育士 工藤 薫 (旧姓 舟戸)
- こじか保育園 5月4日 保育士 西島 有希 (旧姓 橋本)

## 平成22年度熊本市保育園連盟全体研修計画予定表

研修会名	対象者	実施日時	開催場所	定員	研修内容	講師	研修カリキュラム
新任職員 保育士研修会 前期	新任保育士 (経験年数 3年未満の 保育士)	5月26日(水) 2時～5時	国際交流会館 4F 第3会議室	80名	①「保育界の現状と熊本市保育園連盟の組織について」 ②「社会人のマナーと接遇」	①理事長 重岡 啓一氏 ②研修委員	①保育界の理解 連盟の組織への理解 ②社会人としてのマナーや保育士としての職務理解
新任職員 保育士研修会 中期	〃	7月9日(金) 2時～5時	国際交流会館 4F 第3会議室	80名	「子ども・保護者と共に歩む保育を 目指して」	尚絅大学短期大学部 幼児教育学科講師 増淵 千保美氏	子どもや保護者への理解
新任職員 保育士研修会 後期	〃	11月26日(金) 2時～5時	国際交流会館 4F 第3会議室	80名	グループ討議①保育の内容で悩んでいる事 ②保護者との関係で悩んでいること ③職場における人間関係で悩んでいること 等を出し合い解決策を見つける ④研修委員からの助言		グループ討議
主任保育士研修会 前期	主任保育士	6月3日(木) 9時半～12時 9時受付	くまもと県民交流館 パレオ 9F 第1会議室	120名	乳幼児の発達の見直し 「愛着関係の形成と言葉の発達」	立教女学院短期大学 教授 今井 和子氏	発達過程の再認識
主任保育士研修会 中期	〃	8月25日(水) 9時半～5時 9時受付	県福祉センター 5F ホール	120名	①「保育制度のこれまでとこれから」 ②「自分達で考える主任保育士の役割と課題」(グループ討議・まとめ発表) ③「園内研修で専門性を学ぶ」	専務理事 松永 恵美子氏 清華保育園 蒲池 房子氏	①保育制度の理解 ②主任保育士の職務 ③研修体系・保育の専門性
主任保育士研修会 後期	〃	11月11日(木) 10時～5時	国際交流会館 or パレオ	120名	①「保育園職員の労務管理について」 ②「科学的根拠に基づいた保育」	社会保険労務士 上田 吉勝氏 神戸大学大学院 北野 幸子氏	①労務管理 ②乳幼児の発達理解と援助
看護師研修会 前期	看護師 保育士	6月15日(火) 2時～5時	くまもと県民交流館 パレオ 9F 第1会議室	120名	「保育所における保健衛生①」	未定	パネルディスカッション形式
看護師研修会 後期	〃	11月下旬か 12月上旬 時～ 時	くまもと県民交流館 パレオ 9F 第1会議室	120名	「保育所における保健衛生②」	未定	看護職員より事例報告
子育て支援研修会 前期	未就園児と その保護者	9月11日(土) 10時～1時	立田山野外保育 センター雑草の森	未就 園児 親子 50組	・親子の触れ合いを通して、子どもへの 関わり方を学び子育ての喜びを実感する ・自然を活かした環境の中で保護者のリフ レッシュを図る	ベビーマッサージ 講師 上門 志穂氏 研修委員	子育て支援 (保護者を含む)
市合同研修会	園長 主任保育士 保育士	2月18日(金) 6時半～8時半	市14Fホール	350名	「思いやりを育てる保育」	ほあしこころの クリニック 副院長 帆足 晴子氏	乳幼児の心の育ち